

総合プロデュース

中野 雄

The 7th WORLD PEACE CLASSIC CONCERT

音楽監督・指揮
新田 孝

～華麗なる協奏曲とアリアの夕べ～
ベートーヴェン・プログラム

ソプラノ
金井 隆子

ヴァイオリン
瀬川 祥子

ピアノ
上野 優子

ピアノ
本多 昌子

ヴァイオリン
川瀬 麻由美

チェロ
アダルベルトスコチッチ

オーケストラ

NIPPON SYMPHONY

..... Program

- ・ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」(上野 優子)
- ・ ベートーヴェン:オペラ「フィデリオ」より
“悪者よ!何処へ急ぐのか?”(ソプラノ: 金井 隆子)
- ・ ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲(瀬川 祥子)
- ・ ベートーヴェン:ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための三重協奏曲
(P: 本多 昌子・ Vn: 川瀬 麻由美・ Vc: アダルベルト・スコチッチ)

2015年11月26日 木

18:30 開演 | 17:30 開場

東京芸術劇場コンサートホール



アクセス

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
池袋駅西口より徒歩2分。
駅地下通路2b出口と直結しています。

SS席(指定) 7,000円 S席(指定) 6,000円

A席(指定) 5,000円 B席(指定) 4,000円

主催: NIPPON SYMPHONY 孝遊会(新田 孝 後援会)
 後援: 日唄協会 日唄文化協会 岡山市 (株)ヤマハミュージックジャパン
 豊島区 公益財団法人としま未来文化財団 (株)デザインK
 特別協力: オフィス ルナピエナ (株)ミリオンコンサート協会
 協力: (株)SPプランニング T&N企画 コンサート・ラド ACT4
 チケット: 東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296
 お問い合わせ: NIPPON SYMPHONY mobile 090-6927-3447
 e-mail: nipponsymphony@docomo.ne.jp

◆ ニッポン・シンフォニー Nippon Symphony, Orchestra

東京東京芸術大学教授をはじめとするヴィルトゥオーゾ及び著名コンクール入賞者を含む若手精鋭プレイヤーによって構成され、格調と熱気の演奏で知られている。私たちは、永遠に偉大なる曲として光芒を放つ作品の最高の形式に最高の内容を注ぐこと、そして技法の完成を超越した境地、すなわち音楽にそなわる生命の力を表現することを目標としながら、演奏者と聴衆が一体となって作り上げるという本来の意味のコンサートを実現し、生の雰囲気と充実感を味わって頂けるように努力しております。

総合プロデューサー / 中野 雄、音楽監督・指揮 / 新田 孝による一流ソリストとの新企画、「華麗なる協奏曲の夕べ」は、深沢亮子(ピアノ)、今井信子(ヴィオラ)など世界的ソリスト及び今をときめく中堅と若手ソリストとの高度な音楽表現と絶妙なアンサンブルにより常に絶賛され今後も大いに期待されている。

◆ 新田 孝 Takashi Nitta, Conductor

岡山市出身。東京都在住。東京芸術大学音楽学部卒業。東京交響楽団(音楽監督・秋山和慶)、新日本フィルハーモニー交響楽団(音楽監督・小澤征爾)の第一ホルン奏者として活躍後渡独。指揮法とホルンを国立ベルリン芸術大学、国立ケルン音楽大学及びスイスにて学ぶ。帰国後、指揮者として独立。指揮法を小澤征爾、秋山和慶、山田一雄、荒谷俊治、V.ヴァンゲンハイム、J.マイヤーに学ぶ。ライナー・ホーネック(ウィーン・フィル・コンサートマスター)、海野義雄(Vn)、守屋剛志(Vn)、印田千裕(Vn)、寺沢希美(Vn)、弓 新(Vn)、瀬川祥子(Vn)、松井利世子(Vn)、伊藤雅(Ob)、高瀬真由子(Vn)、永井公美子(Vn)、相曾賢一朗(Vn)、尾池亜美(Vn)、岩田恵子(Vn)、今井信子(Va)、水谷川優子(Vc)、新倉瞳(Vc)、宮坂志広(Vc)、金昌国(F)、小池郁江(F)、大塚茜(F)、武田忠善(Cl)、稲川榮一(Tu)、斎藤雅弘(P)、有森博(P)、田中照子(P)、谷川かつら(P)、根津理恵子(P)、深沢亮子(P)、本多昌子(P)、濱倫子(P)、須関裕子(P)、草冬香(P)、小林夏菜美(P)、中丸三千繪(S)、菅英三子(S)、佐藤美枝子(S)、工藤夏子(S)、秋川雅史(T)、加藤ヒロユキ(T)、泉良平(Br)、金井隆子(S)、由紀さおり(歌手)等、著名ソリストと共演。2011年12月、東日本大震災復興支援 / なかにし礼 訳日本語による第九「歓喜の歌」(総プロデューサー: なかにし礼、澤畑恵美(S)、山下牧子(A)、福井敬(T)、福島明也(Br)、東京ニューシティー管弦楽団 東京文化会館大ホール)を指揮し大成功をおさめる。

NIPPON SYMPHONY 代表 / 音楽監督・常任指揮者。NIPPON WIND SYMPHONY 代表 / 音楽監督・常任指揮者。ROYAL SYMPHONIC ORCHESTRA(株式会社デザインK) 音楽監督・常任指揮者。十日町市民吹奏楽団音楽監督。日本指揮者協会会員。日本管打・吹奏楽学会会員。21世紀オペラ実験劇場・光の会(芸術協監督 / なかにし礼)代表 / 音楽監督。K国際アンリミットコンクール(音楽器部門)審査委員長。日横協会評議員。日横文化協会会員。(株)ミリオンコンサート協会所属アーティスト。

座右の書 / 亀井勝一郎: 大和古寺風物誌、愛の無常について、岡部伊都子: みほとけとの対話、モンテニユ: 随想録、トマス・ア・ケンピス: キリストにならいて、等。

◆ 上野 優子 Yuko Ueno, Piano

桐朋女子高校音楽科を経て同大学2年次に渡欧、イモラ国際ピアノアカデミー(伊)ピアノ科ディプロマ取得、パリ・エコールノルマル音楽院ピアノ科コンサーティスト課程ディプロマをアルグリッチ、エル＝パジャ、カツリス各氏に認められ取得。'09年同音楽院室内楽科コンサーティスト課程ディプロマを首席・審査員満場一致で取得。

全日本学生音楽コンクール、浜松国際ピアノアカデミーコンクール、フンメル国際ピアノコンクール他入賞多数。これまでストレーザマッジョーレ湖音楽祭、パリ・サルコルトー、プールジュ・サンボネ劇場、都民芸術フェスティバル、ラフォルジュルネ「熱狂の日」エリアコンサートなどでソリスト・室内楽奏者として出演する他、モルドヴァ共和国ナショナルオーケストラ、スロヴァキアフィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。国内外で積極的な活動を展開する傍ら、コンクール審査や昭和音楽大学にて後進の指導も行っている。イタリア国营テレビRAI3、スロヴァキアFMに出演。'08年デビューCDが「レコード芸術」誌準推薦盤に選出。

公式ウェブサイト <http://yuko-ueno.com>

◆ 瀬川 祥子 Sachiko Segawa, Violin

4歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園高校音楽科を経て、モスクワ音楽院、パリ国立高等音楽院第三課程、ベルリン芸術大学他で学ぶ。第3回日本国際音楽コンクール奨励賞、ヴィオッティ国際コンクール最高位他を受賞する。モスクワ・フィル、メキシコ州立管弦楽団、東京交響楽団、読売交響楽団等との共演の他、ヤング・ブラハ、東京の夏音楽祭、カラス音楽祭、ポルトガル音楽祭他に招かれるなど、日本、欧州各地でソリスト、室内楽奏者として活躍している。また、最近ではフォルテ・ピアノとのデュオ等活動の幅を広げている。アンサンブル・ナフェアのメンバー。

鷺見三郎、小林健次、江藤俊哉、V.クリモフ、R.バスキエ、T.ブランディスの各氏に師事。これまでにイザイ無伴奏ソナタ全曲、モーツァルトのソナタ等のCDがリリースされている。

◆ 金井 隆子 Takako Kanai, Soprano

洗足学園音楽大学卒業。コンセラーアミ国際コンクール入賞後、ウィーン国立音楽大学へ入学。リート オラトリオ科を首席卒業。その後アメリカ、ボストンのニューイングランドコンセルバトリーに奨学金を受け入学。オペラを多数演じる。帰国後、洗足学園音楽大学にて後進の指導に当たり、リサイタルや公開レッスンなど様々な演奏活動をしている。2011年ウィーンコンツェルトハウス モーツァルトホールにてプラチスラバ歌劇場オーケストラと共演。ニッポン・シンフォニーとの共演は3回目。

ハンス ホッター、エリーアメリング、ロベルト ショルム、ロートラウド ハンスマンに師事。

◆ 本多 昌子 Masako Honda, Piano

第29回全日本学生コンクール小学校の部全国第1位。PTNA ヤングピアニストコンペティションE級金賞。東京芸術大学附属音楽高校を経て、芸大入学、東京芸術大学大学院修了。故中島和彦、杉山千賀子、故田村宏、ティニー・ヴィルツの各氏に師事。在学中第52回日本音楽コンクール入選、日本室内楽コンクール入賞、学内にて「安宅賞」受賞。1987年DAAD(ドイツ学術交流会)の給費留学生として旧西独ケルン音楽大学に留学、当地にてリサイタルを催し、紙上に高く評価される。同大学を「最優秀」首席の成績で卒業。「若い芽のコンサート」にてギュンター・ウィッヒ氏指揮 NHK 交響楽団と共演、芸大定期新卒業生紹介演奏会にて芸大オーケストラと共演。1994年CD「現代日本のヴァイオリン音楽・抄」(Vn 天満敦子)でピアノ共演者として文化庁芸術作品賞を受賞。1995年、国際交流基金より音楽文化使節として天満敦子氏(ヴァイオリン)とともにミャンマーで演奏会を催す。これまでに昭和音楽大学、芸大附属高校非常勤講師を勤め、後進の指導にもあたっている。

◆ 川瀬 麻由美 Mayumi Kawase, Violin

桐朋学園大学卒業。NHK 洋楽オーディション合格。NHK-FM コンサート出演。東京ソリストのコンサートマスターとしてメキシコ音楽祭など多数出演。

1991年、東京シティフィルハーモニック管弦楽団のアシスタントコンサートマスターに就任。1993年より、毎年、若手第一線の演奏家たちによるアンサンブル「VEGA」の結成メンバーとして演奏会を開催。また皇太子殿下を団長とする梓室内管弦楽団のコンサートマスターも務め、ロイヤル・チェンバーオーケストラのコンサートマスターとしても活動。小沢征爾、ロストロポーヴィッチ両氏によるキャラバンコンサート出演。1994年にはサイトウキネンオーケストラのメンバーとして、ヨーロッパ・松本公演に参加。読売日本交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団等のゲストコンサートマスターとして活動を続ける。2002年、大分県立芸術文化短期大学音楽科助教授に就任。2003年、第24回九州現代音楽祭出演。大分「音の泉ホール」にてリサイタル開催。

第4回大阪国際音楽コンクール審査員。

現在、大分県立芸術文化短期大学助教授、附属緑ヶ丘高等学校非常勤講師。日本演奏連盟会員。篠崎永育、広瀬大喜、故 東儀祐二、故 鷺見三郎、辰巳明子、海野義雄各氏に師事。

◆ アダルベルト・スコッチ Adalbert Skocic, Cello

マンハイムで、伝統あるオーストリアの音楽一家に生まれる。

6歳より父にピアノの指導を受け、9歳よりチェロを学ぶ。ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。1961年ジュネーブ国際コンクールで受賞。64年より85年までウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団奏者を務める。

その間、70年より故 G.ヘツェル率いるウィーン室内合奏団のメンバーとして多くのコンサートに出演、またドイツグラモフォン等より30枚以上のCDが発売されている(ウィーン・モーツァルト協会賞受賞)。その後は、ソロ、室内楽、オーケストラ共演等幅広い活動を行っている。ザルツブルク音楽祭、ウィーン音楽週間をはじめ多くの音楽祭にも招聘され、ピアニストのJ.デームス、E.レオンスカヤ、指揮者のJ.レヴァイン等とも共演。ウィーン音楽院教授。度々の来日でも、演奏会の他各地でマスタークラスも行い、指導者としても評価が高い。